



# 経営とSDGs ～取組は身近なことから～

No.12

SDGs  
17のゴール



## 業種関係なく取り組めるSDGs 具体的な取組内容④

4月号から、ステップ1の「SDGsを理解する」に重点を置き、業種別の具体的な取組内容をシリーズで紹介してきました。2月号に引き続き、今月号も業種関係なく取り組める活動について紹介していきます。

※以下で紹介する取組はあくまで一例です。

### 健康経営に取り組み

健康経営とは、従業員の健康管理を経営課題の1つと見なし、健康を守るために様々な取組を行う経営戦略の一種のことです。社員の安心感や満足度、会社への信頼度が高まるだけでなく、「生産性の向上」「企業イメージの向上」「離職リスクの低減」「保険料負担の低減」など、多くのメリットがあります。

新しい生活様式のもと、健康的で働きやすい職場づくりの重要性が高まる今、できることから取り組んでみてはいかがでしょうか。

#### 関連するゴール



### AI・IoTを活用し労働環境改善を図る

少子化や人口流出による人手不足だけでなく、働き方改革により時間外労働に上限が設けられている昨今、AIやIoT等の導入・活用による業務効率化は不可欠となっています。

AI・IoT等の活用は、本来必要のない業務の削減や単純作業にかかっていた時間の短縮をすることができ、労働時間や労働環境の改善につながります。浮いた時間を活用し、よりやりがいのある業務への注力ができるようになり、従業員の満足度向上を図ることができます。

#### 関連するゴール



## 個人で取り組めるSDGs

### 使用しなくなったものを寄付、販売する

使用しなくなったおもちゃや本、服などは必要な人に寄付することが可能です。ゴミを減らせるだけでなく、誰でも平等に学ぶ機会の提供や安全な暮らしのためにも役立ちます。寄付団体によっては、不要なモノをお金に換えて必要なところへ寄付する取組もあります。また、まだ使えるものであれば、リサイクルショップ(リユースショップ)やフリーマーケット、フリマアプリなどで売ることもできます。

#### 関連するゴール



2ドア軽自動車地域最安値

24時間 **2,200円** 24時間

1週間 **8,580円** 1ヶ月 **27,280円**

メンテナンス不要・保険付き・税込

買うより借りる **ガッツ**でしょ!

**ガッツレンタカー** 新潟駅前店

TEL: 025-256-8520 FAX: 025-256-8325  
新潟市中央区明石 1-2-10 コーポ明石1F  
https://guts-rentacar.com/

『認定支援機関』として新潟の企業を応援します!

詳しくはこちらへ → <https://www.ogawakaikei.co.jp/>  
(本店) 新潟市東区豊2-6-52 TEL 025-271-2212

税理士法人 <b>小川会計</b>	株式会社 <b>小川会計</b> コンサルティング	社会保険労務士法人 <b>KBS</b>
●法人税務～相続まで総合支援 ●事業承継とコロナ対策支援	●経営計画策定・モニタリング支援 ●認定支援機関補助金申請	●人事・労務相談 ●就業規則・助成金申請

会社の福利厚生を応援します

新潟市が出資している法人です。  
従業員1人当たり月800円で、充実した福利厚生を実現!

**会員募集中!**

主な事業：慶弔給付、健康維持増進、自己啓発援助、余暇活動援助ほか

詳しいサービス内容はインターネットで  
愛称 **ニピイ**

公益財団法人  
**新潟市勤労者福祉サービスセンター**  
新潟市中央区西堀通6-878-1 西堀7番館ビル3F  
電話 (025) 201-6113 <http://www.nipy.jp/>

本連載では、IT経営マガジン「COMPASS」に掲載した全国のIT活用事例をもとに、中小企業の経営において、ITがどのように役立つかを解説していきます。

# ITを事例から ひも解く



## 現有スタッフで海外展開を実現するために必要だったこと

IT活用がうまくいかない、効果が出ないと悩む企業には、「会社をどうしていきたいか。そのためにITで何を實現したいか」という導入目的があいまいになっていることがよくあります。会社のあるべき姿を描き、必要なITを取捨選択していきたいものです。

「石垣ブルー」の美しい色合いの陶器を製造販売している沖縄県石垣島の石垣焼窯元は、積極的に海外発信を考えたところ、現在のスタッフだけで實現するには、IT化が必須であると考えました。

〔COMPASS〕2019年秋号から転載（記載内容は掲載時点のもの）



IT経営マガジン「COMPASS」編集長  
石原 由美子

沖縄県石垣島、ブルーとエメラルドグリーンが美しい海岸近くに建つのが石垣焼窯元である。人気が高い陶芸体験の教室の奥では、琉球の海を彷彿（ほうふつ）させるブルーが際立つ石垣焼の品々が販売されている。

石垣焼は、現代表・金子晴彦氏の父が生み出した「よろん焼」をルーツとし、粉末にした鉱石と透明のガラスを使用した焼き物である。油滴天目茶碗を代表に、日常使いの食器、アクセサリーなど種類も豊富だ。

海外からも注目され、英国の大英博物館に常設展示されている。店舗には、近隣の香港・台湾からの来客も多いという。Webサイトは英語、フランス語に対応しているが、アート分野に焦点を当てたWebサイトを立ち上げ、海外への積極的な発信を行う計画を立てた。

「海外展開を現在のスタッフで實現するため、機械に任せられるところは任せたい。販売管理や在庫管理をすっきりしたいと考えました」。業務管理を担当する工藤晴美氏は状況をこのように説明する。

店内は観光バスが到着すると一気に来客数が増える。この時にも販売をスムーズに進めたい。また、自社店舗のほかにもホテルなどへの卸販売があり、販売・

在庫管理が複雑だった。表計算ソフトExcelでマクロを組むなど工夫をしていたものの、慣れないスタッフのうっかりミスでマクロが崩れてしまうなど、悩みがあった。

そこで、地元IT企業K.J.S社の「結シリーズ」を活用した。ツアー客のクーポン対応などが必要なため、カスタマイズしたPOSレジと、在庫管理、会計のシステムを導入。三つのデータを連携できる仕組みとした。

商品が焼き上がると在庫データを登録し、バーコードつきの値札シールを出力して商品に貼り付ける。レジの際にバーコードを読み取ると、同時に在庫が引き落とされる。売上データは会計にも自動連携するので、データを移す作業がなくなり、かつ正確さが保たれるようになった。さらに、クレジットカード決済や自動釣り銭機も導入した。金額決定後、現金を投入するとおつりが自動的に出てくるので、釣り銭の間違いが起きないのだ。

工藤氏は、「レジ締めが簡単になり、圧倒的に効率が上がりました。今後は、顧客管理もしっかり行い、リピーターを増やしたい」と意気込みを語った。

### 事例からヨミトル

- ・「同じ人数で今までより多くの仕事をこなしたい」と考えると、ITを活用したい分野が見えてきます。
- ・POSレジ、在庫管理など、業務システムは分野ごとに提供されていますが、データを連携させると、さらに便利に活用することができます。

### 会社概要

社名 合同会社石垣焼窯元  
住所 沖縄県石垣市名蔵1356-71  
設立 2007年（創業は1999年）  
従業員数 5人  
URL <https://www.ishigaki-yaki.com/>